



2023年度
大学コンソーシアム熊本

地域課題解決のための 政策アイデアコンテスト

「課題への取組み方、進め方」

尚絅大学現代文化学部 柳田紀代子



フィールド、テーマ等を決めましょう

熊本県、熊本市から示された課題を元に、自分達のグループのフィールドやテーマを決めます。地域課題は、熊本県、熊本市からそれぞれ下記のとおり示されています。データ収集や分析の範囲を決めるためにも、ある程度、フィールドやテーマを絞った方がいいかもしれません。

- 1) 令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続に必要な取り組みについて(熊本県)
- 2) 市民一人ひとりの幸福度を高めるためのまちづくりについて(熊本市)

令和4年度の事例を見てみましょう。

熊本県課題「令和2年7月豪雨の被災地域における地域の持続を実現するための取組みについて」

『人と人、内と外を繋ぐ憩いの場 ～球磨村に設ける地域内外多目的交流拠点～』

『企業誘致を利用した持続可能な村づくり～球磨村の人口と所得を高める地域づくり～』

『くま!LOVE ～シビックプライド醸成計画～』

『八代よかところよっという政策 ～人の力が復興力～』

熊本市課題「政令指定都市移行10年 今後の熊本市のあり方について」

『文化が生み出す「まちなか回遊」 ～もっと!もーっと!寄りたくなるくまもっと!～』

『新町・古町地区の町屋再生事業～若者が定住するための「リノベーション」～』

『くまポートで起こす交通革命～渋滞ゼロを目指して～』

『くまもとよかまちプロジェクト～世代間交流を活用した新たなまちづくりのあり方～』

ディスカッションのポイント(グループの場合)

- 他の人の発言を否定しない。自分の意見と違っても、相手の意見を尊重して聞きましょう。根拠を明確にして自分の考えも伝えましょう。
- 相手の発言を遮らない。相手が話しているときに割り込んだり、同調の意味で口を挟んだりしないようにしましょう。相手の話を最後まで聞いてからコメントしましょう。
- 自分本位に進めない。リーダーシップを発揮することは大切ですが、自分だけで議論を進行したり、自分の意見を押し通したりしないようにしましょう。メンバー全員の意見を聞き入れて協力しましょう。
- 意見は簡潔にまとめる。積極的に発言することは良いことですが、長時間一人で話してしまうと、他の人の発言の機会を奪ってしまいます。意見は要点を絞って短く伝えましょう。
- 言葉遣いに気をつける。話が盛り上がっても、ぞんざいな言葉遣いやタメ口は避けましょう。敬語や丁寧語を使って正しい言葉遣いで話しましょう。

まず、課題を選定しましょう。

①現状の把握

データを集めて分析します

②問題の発見

あるべき姿と現状のギャップ

③課題の選定

問題を解決するために行なうべきこと

④解決策

アイデア出しをします。現在、行政が行なっている政策や成果もここで確認しておきましょう。

問題・課題・対策・作業の定義

問題 (Issue)

「現状」と「あるべき姿」のギャップ、ズレ

課題 (Task)

問題を解消するために解決すべきこと

対策 (Solution)

課題解決のための具体的な方法

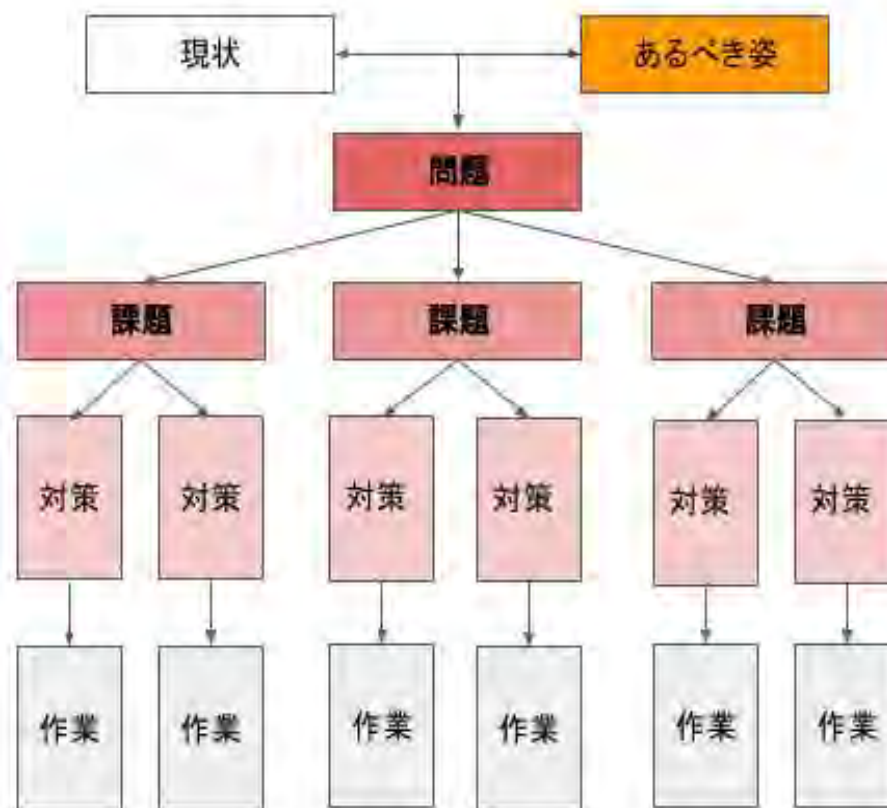
作業 (ToDo)

考えなくてもできるくらい
明確になっているアクション

※書く際のコツ

- ・できるだけ定量的、具体的に各項目を埋める。
- ・全ての作業が完了したら自然に対策、課題、問題が解決されるか確認する。

※なぜなぜ5回的なアプローチで、現状になってしまった背景を考えることで問題はより本質的なものに近づく。



データの集め方の事例

- ・まずは、自治体のホームページや熊本県のホームページで自分達のフィールドやテーマに沿ったデータを収集します
- ・新聞・雑誌・文献等の情報を検索します（データベースは各大学や図書館等にあると思います）
- ・フィールドワークを行ない、自分達の実情を把握します
- ・既存のインタビュー調査やアンケート調査結果を使うのもいいですし、もしくは自分達でインタビュー調査を行なってもいいでしょう
- ・地方自治体のデータをまとめたものを上手に使いましょう

地方経済情報システム RESAS

政府統計データ e・Stad

よい企画書のポイントI

6W2Hとは？

様々な事象をを多面的に捉える

6W	When	いつ
	Where	どこで
	Who	誰が
	Whom	誰に
	What	何を
	Why	なぜ
2H	How	どのように
	How much	いくらで



抜けもれなく物事を整理するためのビジネスフレームワーク

よい企画書のポイント2

共感を得られる内容を意識する

- ①問題・課題を明確にする
- ②根拠あるデータや具体的な事例を示す
- ③客観的で説得力のある分析内容を盛り込む
例えば、分析ツールを使うなど
- ④成果やメリットを示す
提案を実践したときの成功イメージを描くなど

現状分析

分析の手法はたくさんありますが、ここではよく使われるSWOT分析を説明します。

内部環境	強み (Strength)	弱み (Weakness)
外部環境	機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)

四街道市のSWOT分析

Strength (強み)

- 総人口の増加トレンドは持続
- 74.2%「住み続けたい」

Weakness (弱み)

- 県内、若年層にも知られていない
- ニュースの発信が少ない

Occasion (機会)

- 千葉県全体では転入超過が継続
- ターゲットの30代人口はボリュームゾーン(団塊ジュニア後期)

Threat (脅威)

- 少子高齢化、人口減少
- 東京への人口一極集中
- 船橋、印西、流山等の人気上昇

「住めば都」だが、市名も特徴も知られていない

クロスSWOT

<p>外部環境 社内環境</p> <p>社内 内部環境</p>	<h3>強み</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 代表者の営業力 ● 地域での認知度 ● 大手運送業者とのコネクション ● 中古車仕入のコネクション ● 運送トラック整備に関する技術とスピード ● 手許のキャッシュが潤沢 	<h3>弱み</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 後継者の不在 ● 会社が代表者に依存 ● 従業員の高齢化 ● 地域依存(関東に依存) ● IT/データ活用に弱い ● 社内に緊張感がなく仕事が流れ作業になっている
<h3>機会</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 通信販売の普及 ● 機械からコンピューターへ ● 輸送の多頻度化 ● EC市場の拡大 ● 中古車輸出の増加 	<p>【強み×機会】 強みで機会を活かすためにどう行動すべきか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域の整備ニーズをより取り込む ● 販売した中古車の整備を取り逃さない ● 大手運送業者へ稼働余力をアピールする ● 地域の宅配業者(小規模物流)へ営業する ● 輸出中古車の整備を開始する 	<p>【弱み×機会】 機会を逃すことのないように弱みをどう改善する？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 輸送の多頻度化を睨みエリアを拡大する ● 輸出車メンテナンスを請け負う方法を検討する ● 顧客データを見える化し追客確度を高める
<h3>脅威</h3> <ul style="list-style-type: none"> ● 人口減少 ● 自動車保有数の頭打ち ● リースの普及(所有から共有) ● 機械からコンピューターへ ● 大規模物流量の頭打ち ● 若年層の自動車所有意識低下 	<p>【強み×脅威】 脅威を除去するためにどう強みを活かすのか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大手運送業者からの受注を死守する ⇒同時に他の運送業者にも営業をかける ● 販売ではなく整備で収益を確保する ● EVに強い、など技術力をアピールする ● 何か新しい事業を検討する ⇒運送業、自動車リース業など 	<p>【弱み×脅威】 最悪の状況を乗り切るために弱みをどう改善する？</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フットワークを軽くし、若年層を採用する ● リース会社などからリース車メンテを請け負う ● 本店以外の地域に出店し商圈を拡大する

解決策の考え方

- 機会×強み 強みと機会を活かし、大きな成長を目指す
- 脅威×強み 強みを活かし、脅威を乗り越えるような提案をする
- 機会×弱み 弱みを改善し、機会を活かすための対策を行う
- 脅威×弱み 弱みの対策を行い、脅威の影響を減らす

ロジックツリーの概要

ロジックツリーは上位の概念を複数の下位概念に切り分けて(MECE)、**要素分解・要因展開・問題解決**するためのツールです。

また、**思考を図式化することができるので、チーム内での情報共有や意思統一が簡単になります。**

ロジックツリーの種類

ロジックツリーは、3種類があります。

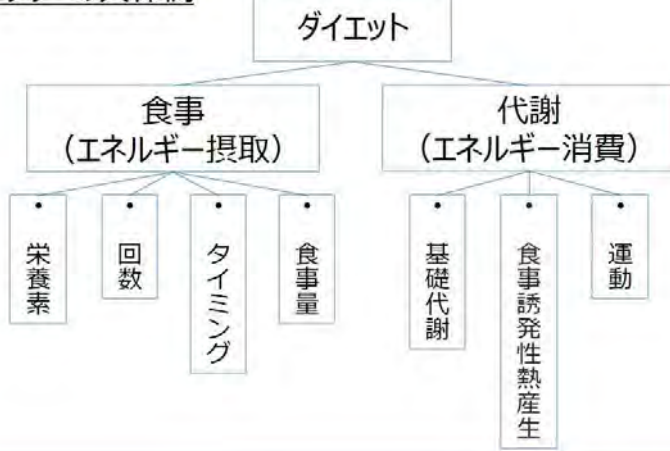
それぞれ、要素分解、要因展開、問題解決の役割を持ちます。

①Whatツリー（要素分解）

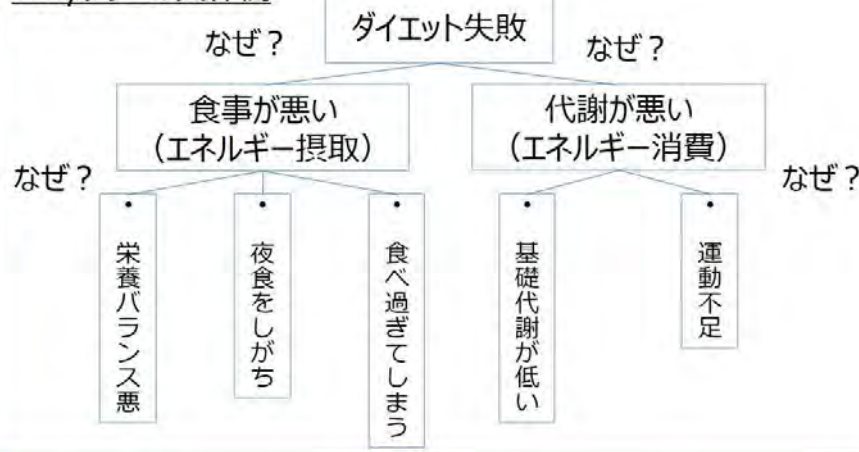
②Whyツリー（要因展開）

③Howツリー（問題解決）

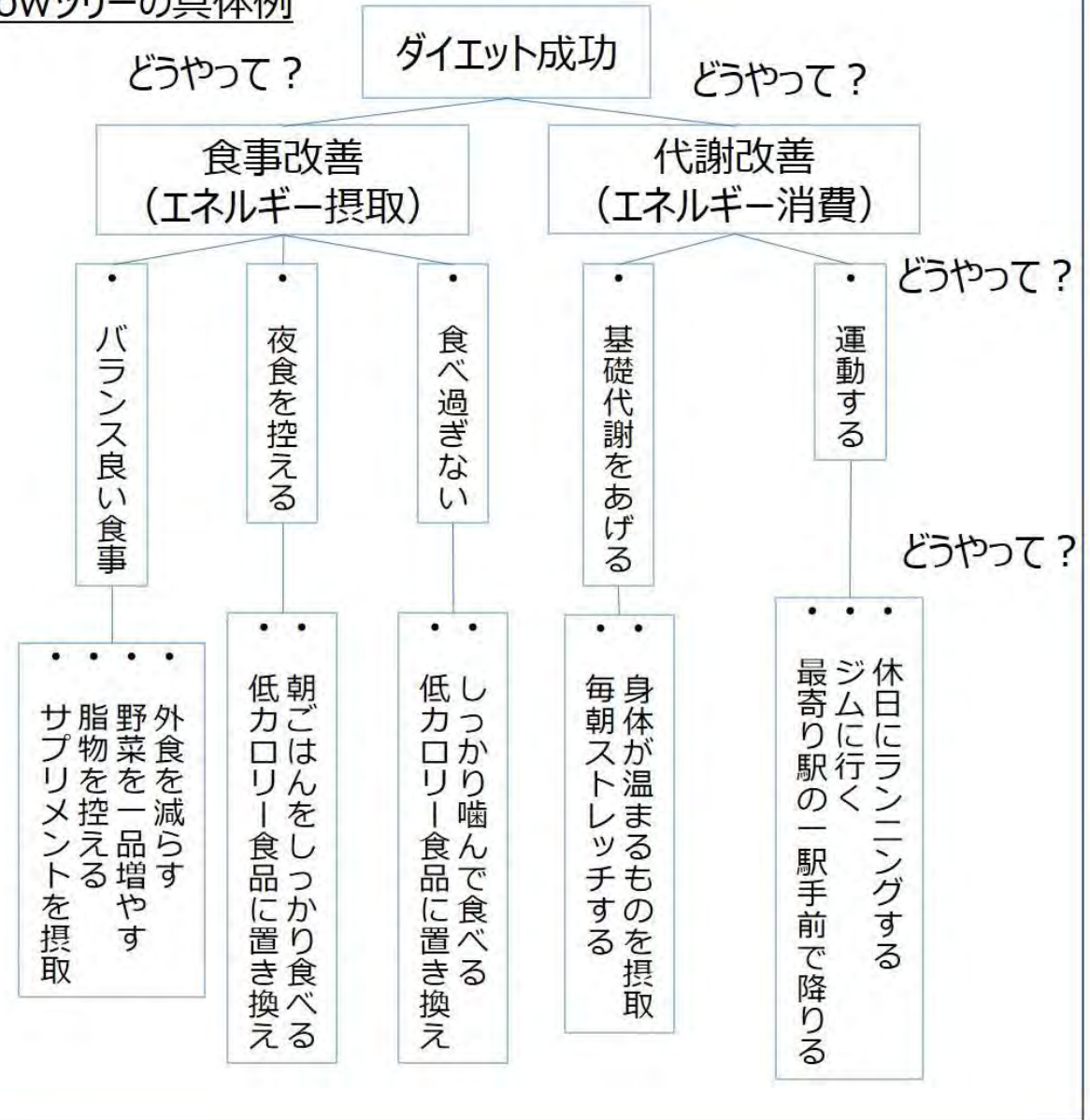
Whatツリーの具体例



Whyツリーの具体例



Howツリーの具体例



パワーポイント作成は審査項目を意識しましょう

①共感性（住民のニーズ）

②実現かつ持続可能性

③独創性

④プレゼンテーション力（構成力／表現力）

プレゼンテーションのポイント

- スライドはシンプルに。スライドは文字や図などが多すぎると見づらくなります。必要な情報だけを入れて、余白や色使いなどで見やすく工夫しましょう。
- 声は大きくハキハキと。声が小さかったり、早口だったりすると聞き取りづらくなります。声は大きくハキハキと話して、聞き手に伝わるように心がけましょう。
- 目線や身振り手振りも大切。目線は聞き手に向けて、身振り手振りは適度に使って、表情豊かに話しましょう。目線や身振り手振りは話す内容を補強する効果があります。
- 質疑応答では丁寧に対応する。質疑応答では、質問者の名前や質問内容を確認してから答えましょう。わからないことがあれば正直に言って、後で調べて連絡するなどの対応を示しましょう。